

セミナー

- ・ 申込時に必要な配慮を確認
- ・ 手話通訳、要約筆記を用意
- ・ 車椅子用席、同行介助者席を用意
- ・ 配布資料に音声コードを添付
- ・ 申込みに応じて、点字資料、ルビ版資料を用意

本会議

- ・ 当事者と支援者を共に委員に選任
- ・ 当事者委員に対し、会議前に事前説明
- ・ ルビ版資料を用意
- ・ 行政説明は短く、グループ討議の時間を長く取る。

交流会

- ・ 申込時に必要な配慮を確認
- ・ 手話通訳を用意
- ・ 車椅子用席、同行介助者席を用意
- ・ 配布資料に音声コードを添付
- ・ ルビ版資料、テキスト版資料を用意
- ・ 申込みに応じて、点字資料を用意

実施例

冊子版

パワーポイントを2枚組にし、冊子にしたもの。参加者全員に配布

音声コード

どのような情報が記載されているかをまず示し、その上で重要と思われるポイントを中心に要約する。

ルビ版

上段にスライド（カラー）を載せ、下段にできる限り平易な説明を加える。



「冊子版」の下段スライドの音声コード内容

障害者の数
○障害者の総数は1160.2万人であり、人口の約9.2%に相当
○そのうち身体障害者は436.0万人、知的障害者は109.4万人、精神障害者は614.8万人。
○障害者数全体は増加傾向にあり、また、在宅・通所の障害者は増加傾向となっている。

グラフが二つあります。

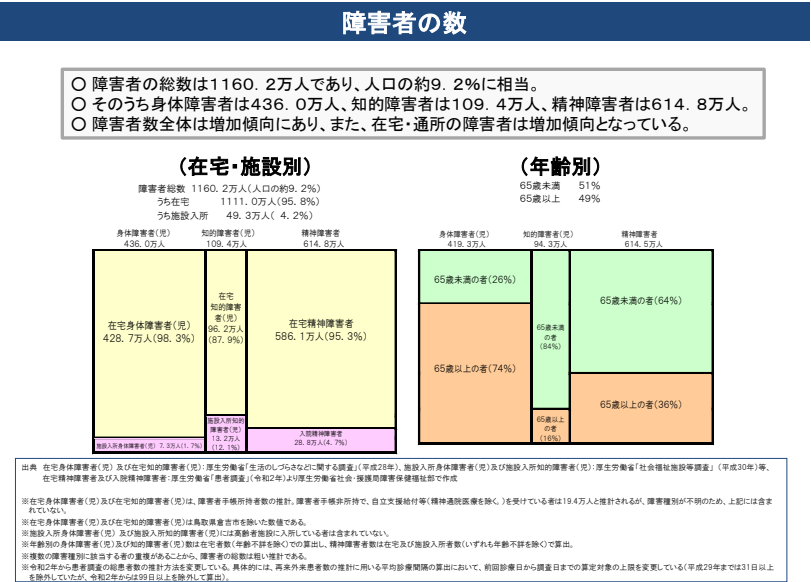
一つ目のグラフ。三障害の在宅・施設別の人数・割合を示したグラフ

身体障害者（児）では、施設入所が1.7%
知的障害者（児）では、施設入所が12.1%
精神障害者では、入院が4.7%

二つ目のグラフ。三障害の65歳未満、65歳以上の人数・割合を示したグラフ

身体障害者（児）では、65歳以上が74%
知的障害者（児）では、65歳以上が16%
精神障害者では、65歳以上が36%

「冊子版」の下段スライドのルビ版



このスライドは、障害者の数について示しています。
左の図は、身体障害者、知的障害者、精神障害者が、在宅で暮らしているか、施設で暮らしているかを、表しています。
右の図は、身体障害者、知的障害者、精神障害者の年齢が、65歳以上か65歳未満かを、表しています。
人数が多いほうが、面積が広がっていて、また、それぞれの割合を高さで示しています。
おおよその内容は、次のとおりです。
○障害者の数は、日本の人口の1割ぐらい
○一番多いのは精神障害者、次が身体障害者、三番目が知的障害者です。
○障害者の数は、増えています。
○在宅・通所の障害者も、増えています。